

- 令和3年5月、**海事産業強化法**が成立し、造船・海運分野は8月20日施行。
- **造船事業者**による**事業基盤強化**、**海運事業者**による**安全・環境に優れた船舶導入**の計画を**認定**し、**長期低利融資**や**税制等**により、**造船・海運**の両輪での**好循環を創出**。

造船事業者

事業基盤強化計画

＜生産性向上・事業再編＞



事業再編や
低・脱炭素船対応等

好循環を創出

海運事業者

特定船舶導入計画※

＜造船の発注喚起＞



LNG燃料船等の導入

☆長期・低利融資

☆ 税制の特例措置

☆ 税制の特例措置
☆ 内航船の建造支援

※海運事業者と造船事業者が共同で計画を策定・申請




海事産業強化法に基づく特定船舶導入計画の認定状況

■ 令和4年3月23日認定（4件）

区分	事業者名	計画の内容
外航	川崎汽船株式会社 ジャパン マリンユナイテッド株式会社	自動カイト（凧） システムを搭載した LNG を燃料とする 大型ばら積み貨物船 の導入 令和6年3月竣工予定
	株式会社商船三井 大島造船所株式会社	硬翼帆（こうよくほ）式風力推進装置（ ウインドチャレンジャー ）を搭載する 大型ばら積み貨物船 の導入 令和4年10月竣工予定
	日本郵船株式会社 大島造船所株式会社	LNG を燃料とする 大型ばら積み貨物船 の導入 令和5年3月竣工予定
内航	有限会社昭進汽船 株式会社三浦造船所	船尾形状の改良 や 高効率エンジン・プロペラの採用 により、省エネ性能の向上を図った セメント専用船 の導入 令和5年3月竣工予定

外航船舶




特定船舶導入計画の概要

海運事業者		船舶建造事業者
 <p>川崎汽船株式会社（東京都千代田区）</p>		 <p>ジャパン マリンユナイテッド株式会社 （三重県津市（津事業所）） <事業基盤強化計画認定（R3.9.14）></p>
導入予定船舶	特徴	スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ● ばら積み貨物船(船名未定) ● 総トン数 110,800トン ● 載荷重量トン数 176,790トン ● 主に本邦・豪州間の不定航路事業に就航予定 ● 令和3年度社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業（うちLNG燃料システム等導入促進事業）の公募採択事業 	<ul style="list-style-type: none"> ● LNGを燃料とする大型ばら積み貨物船。 ● LNG燃料を使用することで、CO₂排出量の約40%の削減を見込む （※）（※）従来の重油焚き船と比べ ● 風力を利用した自動カイト（凧）システム(Seawing)を搭載し、更なるCO₂排出量の削減を目指す。 ● 最適航路選定システム(K-IMS NAVI)を採用し、運航時の最小燃費(CO₂排出量削減)を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起工：令和5年5月 ● 竣工：令和6年3月  <p>本船イメージ図（航行中）</p>

外航船舶

特定船舶導入計画の概要

海運事業者	船舶建造事業者
 商船三井 株式会社商船三井（東京都港区）	 株式会社 大島造船所 株式会社大島造船所（長崎県西海市） <事業基盤強化計画認定（R3.9.14）>

導入予定船舶	特 徴	スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ● ばら積み貨物船（船名未定） ● 総トン数 57,500トン ● 載荷重量トン数 88,606トン ● 主に本邦・豪州間の不定期航路事業に就航予定 ● 平成25年度次世代海洋環境関連技術研究開発支援事業  <p>本船イメージ図（航行中）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 硬翼帆（こうよくほ）式風力推進装置（ウインドチャレンジャー）を搭載した大型ばら積み貨物船。 ● 硬翼帆は風から推進力を得ることでGHG排出量を削減でき、帆1本で従来の同型船に比べおおよそ5～8%のGHG削減を見込む。  <p>本船イメージ図（荷役作業中）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 起工：令和4年 5月 ● 竣工： 同年10月  <p>本船に搭載予定の硬翼帆</p>

外航船舶

特定船舶導入計画の概要

海運事業者	船舶建造事業者
 <p>日本郵船 日本郵船株式会社（東京都千代田区）</p>	 <p>株式会社 大島造船所 株式会社大島造船所（長崎県西海市） ＜事業基盤強化計画認定（R3.9.14）＞</p>

導入予定船舶	特 徴	スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ● ばら積み貨物船（船名未定） ● 総トン数 55,100トン ● 載荷重量トン数 85,200トン ● 主に本邦・海外間の不定航路事業に就航予定  <p>本船イメージ図（航行中）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● LNGを燃料とする大型ばら積み貨物船。 ● LNG燃料を使用することで、CO₂排出量の約40%の削減を見込む(※)。 (※)従来の重油焚き船と比べ  <p>LNG供給のイメージ図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 起工：令和4年8月 ● 竣工：令和5年3月

内航船舶

特定船舶導入計画の概要

海運事業者	船舶建造事業者
有限会社 昭進汽船 (沖縄県那覇市)	株式会社 三浦造船所 (大分県佐伯市) <事業基盤強化計画認定 (R3.9.14) >

導入予定船舶	特徴	スケジュール
<ul style="list-style-type: none">●セメント専用船 (琉仁丸)●総トン数 1,599GT●載荷重量トン数 3,000DW ※鉄道・運輸機構(JR TT)との共有建造	<ul style="list-style-type: none">●船尾形状の改良や高効率エンジン・プロペラの採用により、省エネ性能を向上	<ul style="list-style-type: none">●起工：令和4年5月●竣工：令和5年3月



同型船イメージ



水槽試験による省エネ船型開発



操船性・省エネ性に優れた可変ピッチプロペラ